

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策I-2-3 農林水産業の担い手の育成・確保
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

林業課長 前島和弘

電話番号

0855-22-5167

事務事業の名称	林業就業者確保・魅力ある就労環境づくり事業	
目的	(1) 対象	林業就業希望者、林業従事者及び森林組合等の林業事業体
	(2) 意図	林業就業者を確保するため、林業事業体における就労者の労働条件や待遇の改善、キャリアアップ制度導入などによる魅力ある就労環境づくり、就業希望者と事業体のマッチングや、林業の魅力PR活動などによる新規就業者確保対策を行うことにより、循環型林業を支える林業事業体の強化を図る。
事業概要	林業労働力確保法に基づき「林業労働力確保支援センター」に指定した島根県林業公社等とも連携しながら、次の対策を行う。 ○林業事業体が林業就業者（就業者含む）に魅力ある就労環境への改善を図るための専任アドバイザーによるなどによる指導、新規就業者の定着支援のための高性能林業機械操作のOJT研修等の実施、昇給等処遇改善を促すための県独自の資格制度の導入など ○新規就業者を確保するための地元高校生やU・Iターン希望者への働きかけや林業現場体験会などによるマッチング対策、農林大学在校生への就学給付など ○森林組合（県内13）育成の課題である就労環境づくりや就業確保対策も合わせて行うとともに、経営強化のために民間事業体との連携を促進する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	林業就業者数	目標値	884.0	913.0	942.0	971.0	1,000.0	人
	式・定義	林業就業者の状況調査の林業就業者数	取組目標値						
			実績値	926.0	933.0	943.0			
			達成率	104.8	102.2	100.2	-	-	%
2	指標名	新規林業就業者数	目標値	70.0	140.0	210.0	280.0	350.0	人
	式・定義	林業就業者の状況調査の新規林業就業者数（H27～H31の累計値）	取組目標値						
			実績値	125.0	196.0	266.0			
			達成率	178.6	140.0	126.7	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	44,742	58,865
うち一般財源(千円)	23,227	33,182

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・林業就業者数、新規林業就業者数とも目標以上を確保している。
- ・平成28年度から就業希望者と事業体のマッチング活動（新規雇用確保）、高性能林業機械等の初級者研修（新規技術者定着）、アドバイザーによる指導（事業体の経営改善）を実施し、林業事業体が雇用する林業就業者数は、目標以上の増加につながった。
- ・農林大学在校生の多くは就学給付金を受給、受給者の大半は県内林業事業体に就職。
- ・有効求人倍率の高止まりの状況にあり、林業事業体は人材確保に苦戦しているが、多くの林業事業体が急ピッチで増員したい意向。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・林業就業者数が943人に増加、新規林業就業者を新たに70人確保。
- ・伐出作業従事者の増に伴い全県木材生産量増加
 （伐出作業従事者数）
 H28：400人 → H29：417人
 （県内木材生産量）
 H28：53万m³ → H29：61万m³
 （就業者の過半が月給制の林業事業体）
 H28：15事業体 → H29：16事業体
 （農林大卒業生の県内林業事業体就職者数）
 H28：5人 → H29：6人

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・林業事業体の強化に向け、最も深刻な課題は労働力の確保
- ・木材生産量は増加傾向にあるが、今後の労働力確保が停滞すれば、今後の増加に支障をきたす。
- ・林業事業体が雇用就業者のさらなる増員に取組んでいるが、有効求人倍率が高止まりしており、ハローワーク等に求人しても十分な応募がない状況。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・労働環境や就労条件等が他産業に比べ劣る点（雇用形態・キャリアアップなど）も多く、林業事業体に就業しても早期に退職したり、新規の求職者が林業事業体を選択する魅力が乏しい。

③原因を解消するための「課題」

- ・林業事業体を取り組むべきことを、「経営方針の明確化」、「魅力アップ」、「労働条件の改善」と位置づけ、県事業もこれらの支援に集中させる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・平成30年度から「島根林業魅力向上プログラム制度」、「しまね林業士資格制度」を創設し、各林業事業体の自発的な参加により活動方針を明確化させ、林業事業体の魅力向上と林業就業者の確保につなげる。
- ・具体的には、各事業体に実情に応じた形で、月給制の導入や、キャリアアップシステムの導入や明確化、就労環境改善に向けた取組みに結び付くよう、関係事業を活用し、取組み状況をモニターしていく。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	林業就業者確保・魅力ある就労環境づくり事業
---------	-----------------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	島根林業魅力向上プログラム事業体 で雇用される就業者の割合	目標値				50.0	80.0	%
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	